

学校 番号	22	学校名	篠ノ井高等学校
----------	----	-----	---------

## 令和元年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和元年 6月 10日（月）実施】

### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

第1回評議員会（評議員7名中、7名の参加）  
 14:40 開会、評議員委嘱  
 14:50 授業見学  
 15:30 自己紹介  
     校長あいさつ  
     概要説明（教頭、学校評価、進路、学びの改革委員、定時制）  
     意見交換  
 17:00 定時制授業参観

### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・地区区長、信大教授、地元中学校長、同窓会、PTA、定時制教育振興会と多方面からバランスよく評議員をお願いした。
- ・授業参観を充分にさせていただく時間を確保した。
- ・重点的に取り組んでいる学校目標を明確にし、資料作成した。
- ・ホームページを通じて学校評議員会の様子を広報した。

### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ICTを活用した双方向の授業で、グループ学習など生徒が主体的に学んでいた。
- ・落ち着いた授業の雰囲気安心して。社会に出て自ら学ぶ姿勢がとても重要である。進学のための学力も大切だが、社会で必要なコミュニケーション能力も重要である。自主的な学びを大切にして生徒を伸ばしてほしい。
- ・マレーシア研修の様子がわかり、同窓会の援助のもと事業を継続することとなったが、行かなかった生徒への影響や刺激のあることがわかる。外部に向けて情報発信が必要である。
- ・学校目標と3つの方針で、マレーシア研修もそうだがカリキュラムマップに特色が明記され、生徒がいくつかの選択肢から選べるとよい。AP（アドミッション・ポリシー）の2月公表は遅い。できるだけ早く公表した方がよい。
- ・篠ノ井高校は他校に比べ、先進的な取り組みをしており、他校の見本になっていると思う。情報発信をホームページで行い、今の活動が学校評価の具体性に繋がるとよい。
- ・グランドデザインが一般的な表現なので、本校定時制の特徴が表現されるといい。
- ・定時制に係わって7年目になるが、生活体験発表会で意見を聞けるのがとても刺激になっているので、学校評議員の方にも案内をだすなど参加してもらえるといいのではないかな。
- ・毎日の授業が社会に結びつく、受験学力だけでなく社会との繋がりが重要ということとはよくわかったが、数学的な論理的素養はすぐに効果が出るというものではないというものもある。目の前のことだけでなく、雰囲気だけでもよいので取り組んでほしい。
- ・マレーシア研修のアクティビティは理解できたが、事前指導、事後指導によって効

果がどんな風表れているかが発信できるとよい。

- ・ホームページが整ってきている。担当は一人だけでなく複数で更新していくとよい。

#### 4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・授業参観を通じて生徒の生き生きする姿、ICT 機器を利用した授業の様子を見てもらうことで、学びの改革、3 つの方針、学校目標との関連について議論が深まった。
- ・具体的な意見や要望をいただき、外部からの声を踏まえ、今年度本校が取り組んでいく方向性を全職員で共有し学校運営、教育活動に活かしていきたい。
- ・3 つの方針と学校目標について、双方の関連に注視しよりよいものが公開できるよう整備したい。
- ・スライドの見せ方、黒板と机の位置、自転車の利用について、具体的な改善についてご指摘をいただいたので対応したい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。